

えがお大東っ子

第62号

大東市小中学生弁論大会 「心をことばに～伝えたい気持ち～」

11月11日、サーティホールにて第17回大東市小中学生弁論大会を開催しました。今年度は、発表者の保護者や来賓などの会場での参観に加え、新たな試みとして小中学校へリアルタイム配信を行いました。「弁論の部」では、小学生964名、中学生2,551名の予選応募者の中から選ばれた10名のうち9名の小中学生が、「心をことばに～伝えたい気持ち～」をテーマに、家族や友だちとの関わり、環境問題や社会問題で心に強く感じたことなどを熱く語りました。また、「1分間スピーチの部」では、各小学校の5年生から1名、計12名の代表者それぞれが自分の学校の特徴や自慢できることを元気に紹介しました。21名の発表者は、熱のこもった素晴らしい発表を堂々と披露し、東坂 浩一 市長、品川 大介 市議会議長、中野 秀一 大東ロータリークラブ会長をはじめ、各審査員の方々から多くのご賞揚をいただくことができました。

「作文展示の部」では、各小学校の4年生から1名、計12名の作文を11月12日から11月20日の間、大東市立市民会館1階ロビーにて展示し、多くの市民の方に見ていただきました。

《受賞者のようす》

第17回 大東市小中学生弁論大会



▲小学生の受賞者

第17回 大東市小中学生弁論大会



▲中学生の受賞者

第17回 大東市小中学生弁論大会



▲1分間スピーチの受賞者

◎「弁論の部」受賞者の皆さんです（敬称略）

【市長賞】

小泉 唯那（小学校） ・ 伊藤 叶愛（中学校）

【市議会議長賞】

伊藤 めぐみ（小学校） ・ 西田 優衣（中学校）

【教育長賞】

神田 葵（小学校） ・ 今田 夏蓮（中学校）

【大東ロータリークラブ会長賞】

大場 悠香（小学校） ・ 麻田 優月（中学校）

繁田 都和（小学校） ・ 馬淵 蓮（中学校）

◎「1分間スピーチの部」の皆さんです（敬称略）

大垣 英太・丸山 斗遙・志賀 袖月・東頭 凰翔

山本みのは・泉谷 悠花・杉岡 花恋・荒町 海斗

松下 仁駿・濱崎 仁透・河内 嘉音・仲井 心桜

◎「作文展示の部」の皆さんです（敬称略）

吉永 大悟・川口 万緒・中村 笑里・前澤 乃斗

前田 花凜・増田 絆 ・水口 芽衣・上田 杏

中井莉乃愛・原田 花春・奥西 珠莉・森 穂高

弁論、1分間スピーチの発表、作文展示の作文、どれも素晴らしいものばかりでした！



効果的なICTの活用が広がるように…

～北条中学校の取組みから学ぶ～

明治時代、学校では、石筆（せきひつ）という「ろう」が混じった石のペンで、石板に字を書いて勉強していました。それが昭和に入り、鉛筆とノートを使って学習するようになり、今では鉛筆もノートも使わずに1人1台端末を利用して学習できるようになりました。

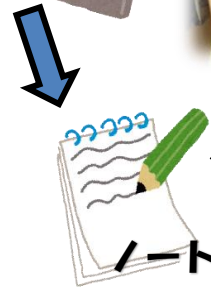
学習ツールの変化に対応すべく、大東市では大阪府から、「スマートスクール実現モデル校」の指定を受けている北条中学校の実践を市内の学校に広めながら、個別最適な学びと協同的な学びを実現するために取組みを進めています。



石板



1人1台端末



←3年生英語

単語の並び替えをしています

1年生理科→

凸レンズについての作図をしています

授業のあとは、教科ごとに分かれて討議会を行い、先生同士で授業を振り返りました。良かった点は今後の授業に取り入れ、改善点はどうすれば良くなるか、交流しました。

また、体育館で行われた全体会では、これまでの北条中学校の取組みの紹介と、講師の先生による講演会がありました。活用が進むためには、授業だけではなく日常の中で活用を進めていくことが大切であるということ、急激な変化に対応するために、先生も不易の部分を大切にしながらも、予測困難な時代を生き抜く子どもたちを育成するために授業観をアップデートする必要があるということ学びました。

北条中学校の実践を参考に、今後も学校教育における効果的なICTの活用が広がるように取組みを進めていきます。

そのような中、12月8日（木）に北条中学校で公開研究授業が行われました。大東市内の先生だけでなく他市の先生方も多数ご参加いただきました。6クラスで授業を公開し、それぞれの教科でICTを活用した授業実践が行われました。

どの教科もICTの良さを活かして、個々の学びを端末上で共有したり、端末上のノートで作図を行ったり、授業のまとめの問題をデジタルドリルで振り返ったりと様々な活用がありました。



討議会→

←全体会

大東教員スキルアップ講座

大東市では、学び合う学校園づくりをより一層推進するために、教員のスキルアップを目的として、教員対象の研修を実施しています。この研修を「大東教員スキルアップ講座」と名付け、大東市の教員全体としてスキルアップをめざしています。



今年度の「大東教員スキルアップ講座」は、テーマや参加できる教員の対象を工夫しながら、20回程度計画し、実施しています。理科の実践に特化して実施したスキルアップ講座では、市内の中学校の理科室を会場とし、実際の授業場面を想定した講座となりました。また、小学校や幼稚園での実践を報告してもらい、その報告を受けて参加者で交流して報告内容を深めていく講座や、各校の情報教育担当者と学力向上担当者が一堂に会し、情報交換等を行うことでこれまでの実践や取組みを振り返り、今後の見通しを共有する講座などを実施しています。



実践報告の動画を見ている



情報教育担当者と学力向上担当者が一緒になって、ICT 機器の効果的な活用などについて考えを深めています



一度に教室内へ入ることができる教員の数を制限するなどの工夫をしながら、授業を見る機会を確保しています。参加者が同時に同じ授業を参観することで、その後の協議も深まります。

今年度は「大東教員スキルアップ講座」を市内の小中学校を会場として実施し、授業参観を行った後に、協議や交流、講義等を行うという新しいスタイルを試みています。授業力の向上には、授業を見ることと見せることが欠かせません。新型コロナウイルス感染症の影響で、授業を見たり、見せたりする機会が少なくなっている現状がありますが、様々な工夫をしながら授業力向上をめざしています。

大東市教育委員会では、学校園がより**安全・安心で豊かな学びの場**となるために、引き続き、さまざまな事業の実施及び教職員研修などを通して学校園の指導力向上を図ってまいります。

第40回大東市立小学校連合音楽会

—大東市小学校教育研究会主催—

令和4年11月30日（水）、サーティホールで市内12小学校による、第40回大東市立小学校連合音楽会が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて、3年ぶりの開催となった連合音楽会。子どもたちの期待と緊張感が会場を包んでいました。



各校の代表として出場した子どもたちは、練習を重ねてきた合奏で仲間と心を合わせ、強弱をつけたメリハリのあるメロディーと躍動感あふれるリズムで堂々と演奏し、鑑賞者に感動をあたえる素晴らしい音楽会となりました。



広報誌『だいたう』12月号

ぜひご覧ください!!



広報「だいたう」12月号では、大東市の教育に関する情報がたくさん掲載されています!!ぜひ、ご覧ください!!

【特集ページ】

『学校図書館・ICT活用で

子どもたちの学びをレベルアップ!』

【p.9・10】『全国学力・学習状況調査

大東市の概要』

【p.10】『「図書館を使った調べる学習コンクール」

入賞作品決定』

【p.14】『ここが腕の見せどころ

～成長を支える学校給食!～』